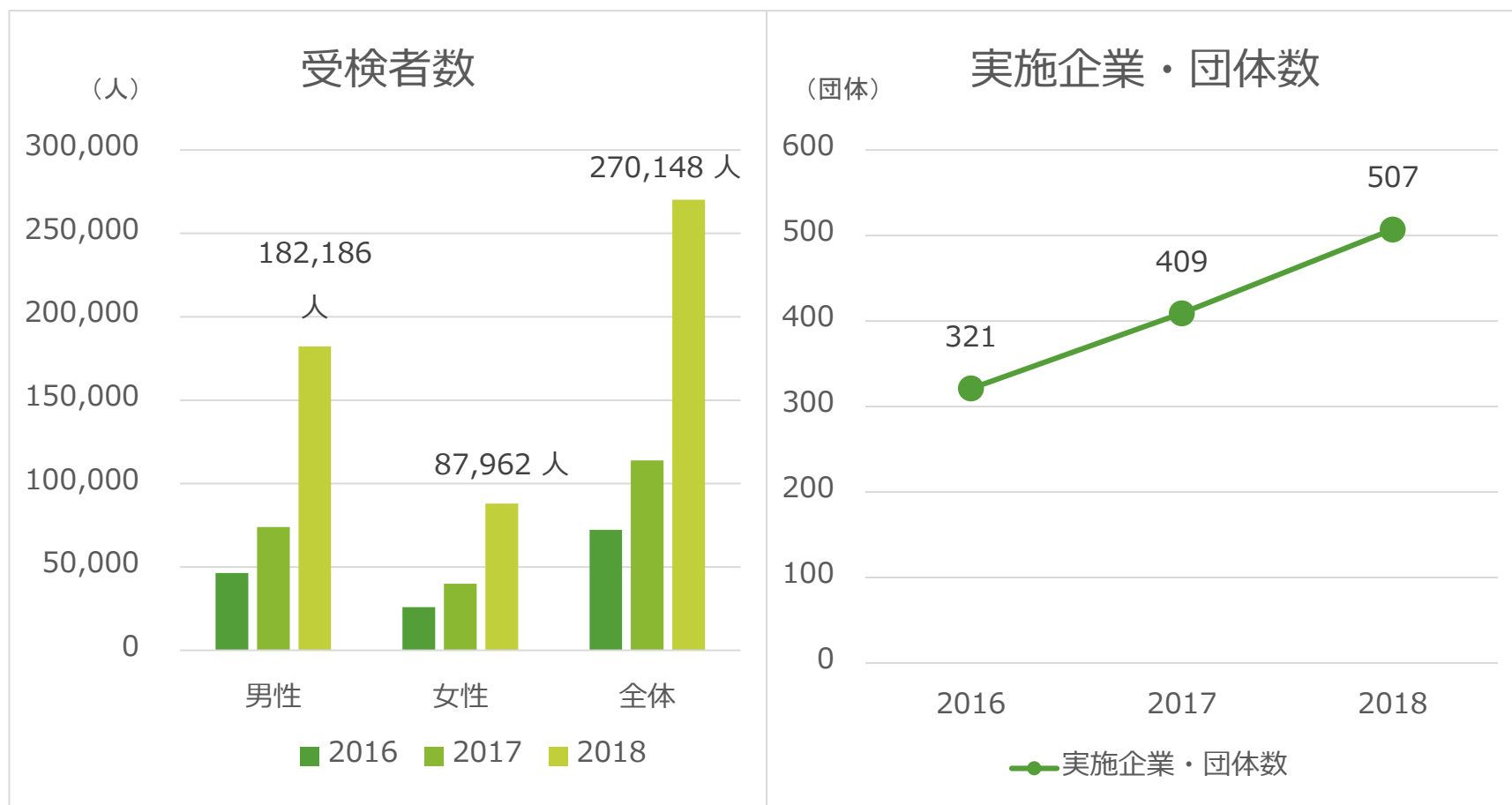


総受検者数全国45万人！  
ストレスチェック全業種データから  
学べること

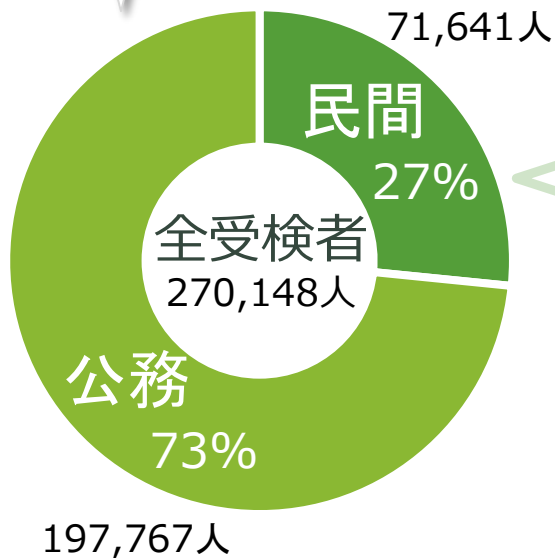
# 2018年ドクタートラスト ストレスチェック実施状況



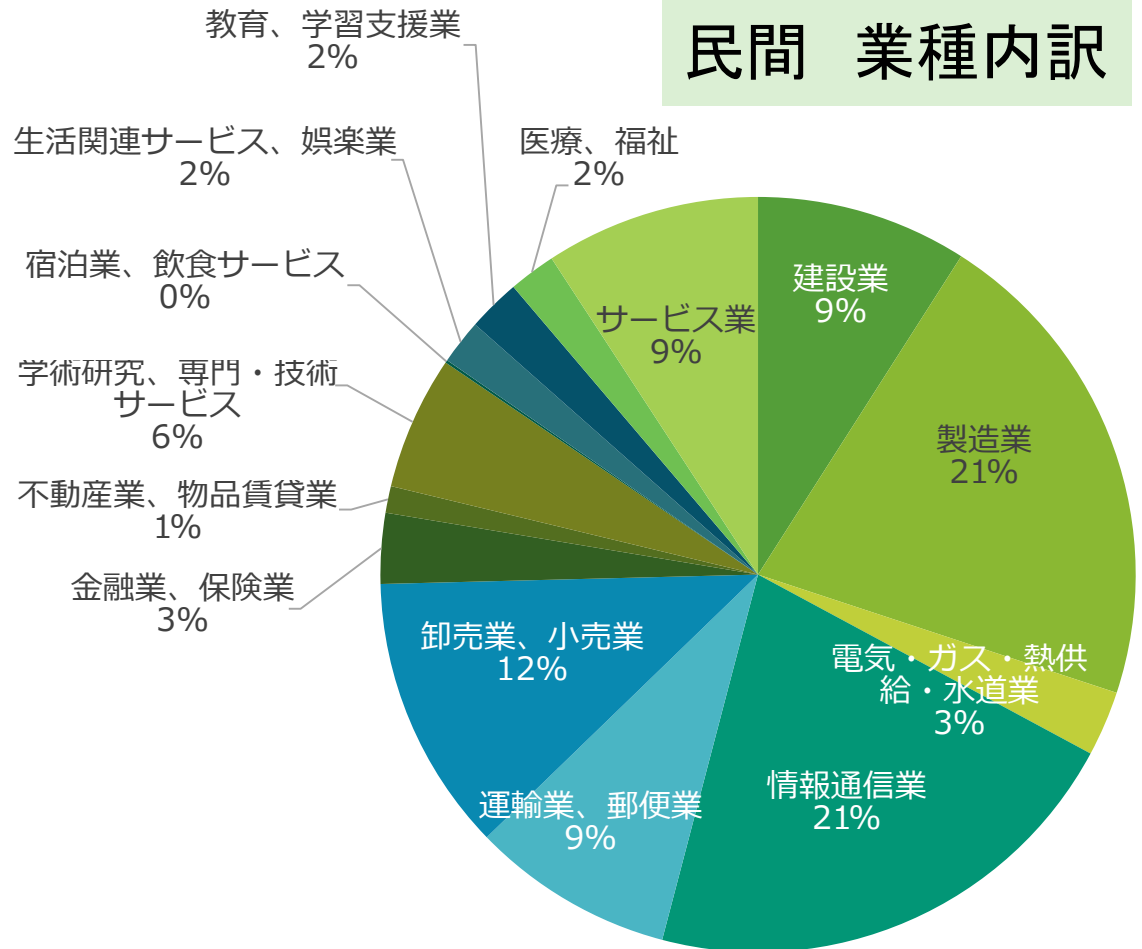
義務化後3年連続で受検者数・実施団体数は増加

# 受検者数の業種\*別内訳

公務が  
約7割

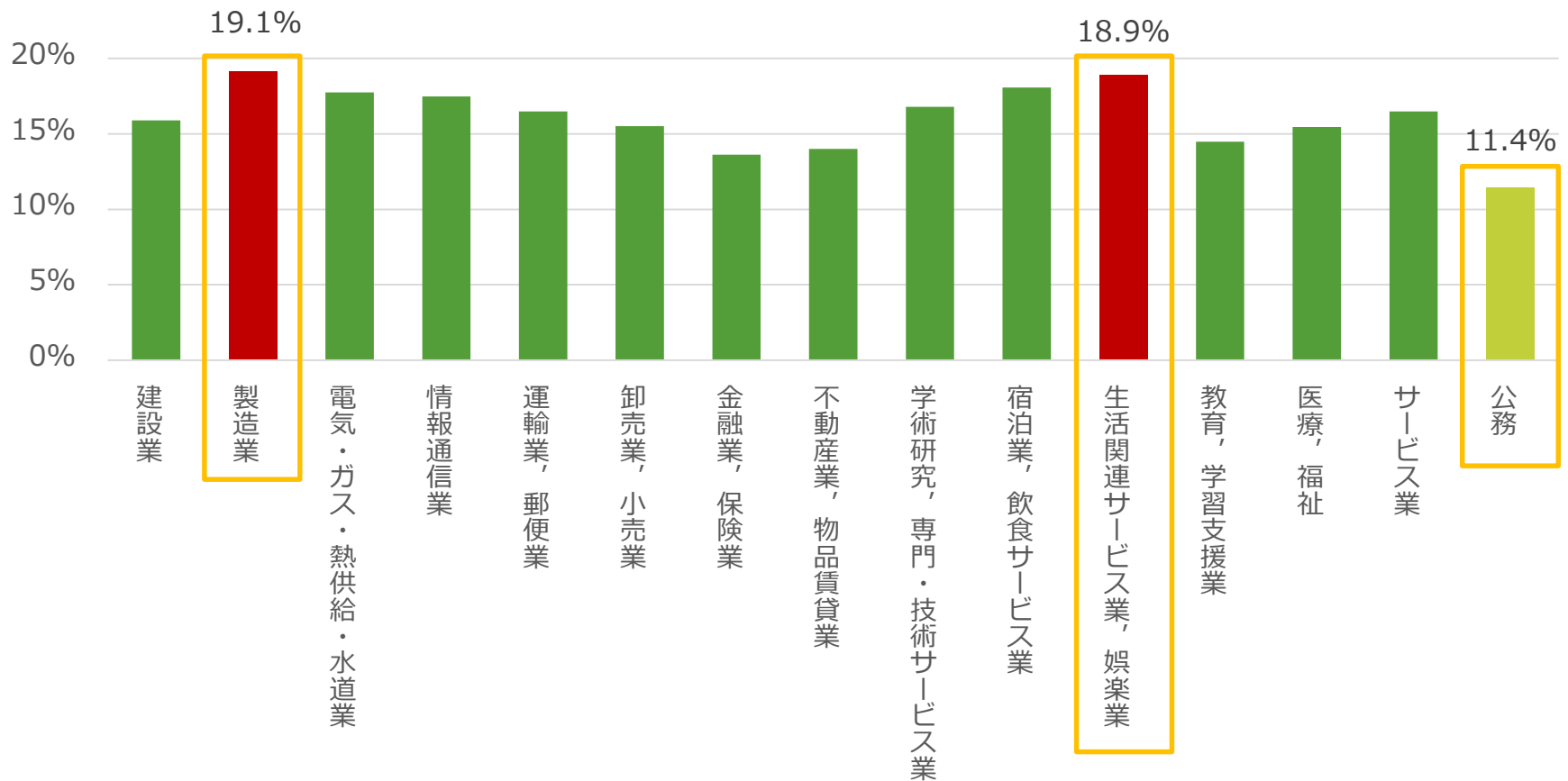


## 民間 業種内訳



※日本標準産業分類に基づく

# 高ストレス者率の業種別比較



## 高ストレス者率

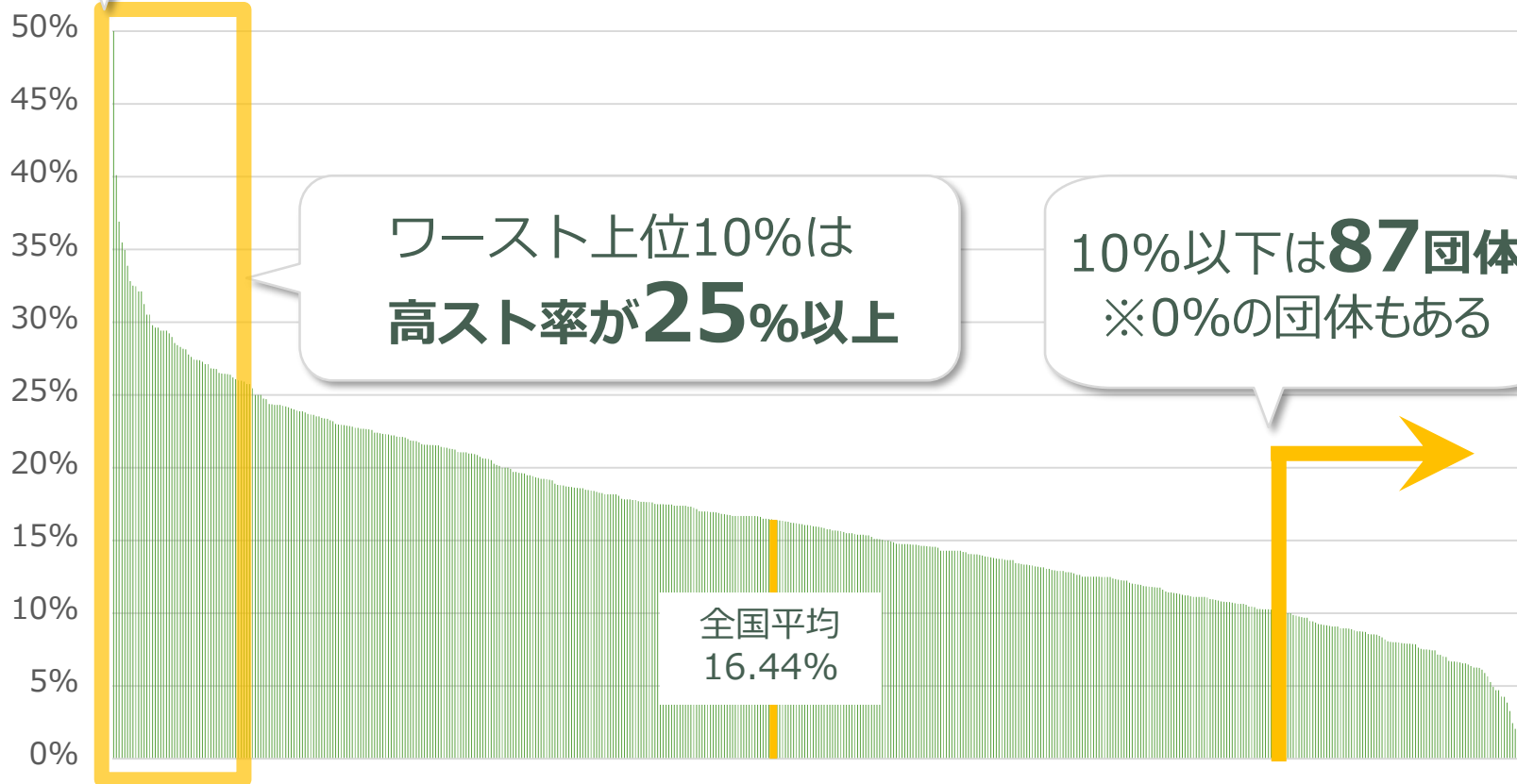
高い:「製造業」「生活関連サービス業・娯楽業」

低い:「公務」

# 高ストレス者率の企業別ランキング

(全507団体)

ワースト1は  
高ストレス率が**50%**



# ストレスチェックの質問項目

大きく分けて、**3つの領域の設問**があります

A.仕事のストレス要因

全17問（設問：1～17）

ストレスの要因となるもの

ストレスチェック

全**57**問

B.ストレス反応

全29問（設問：18～46）

実際からだやこころに  
出ているストレス

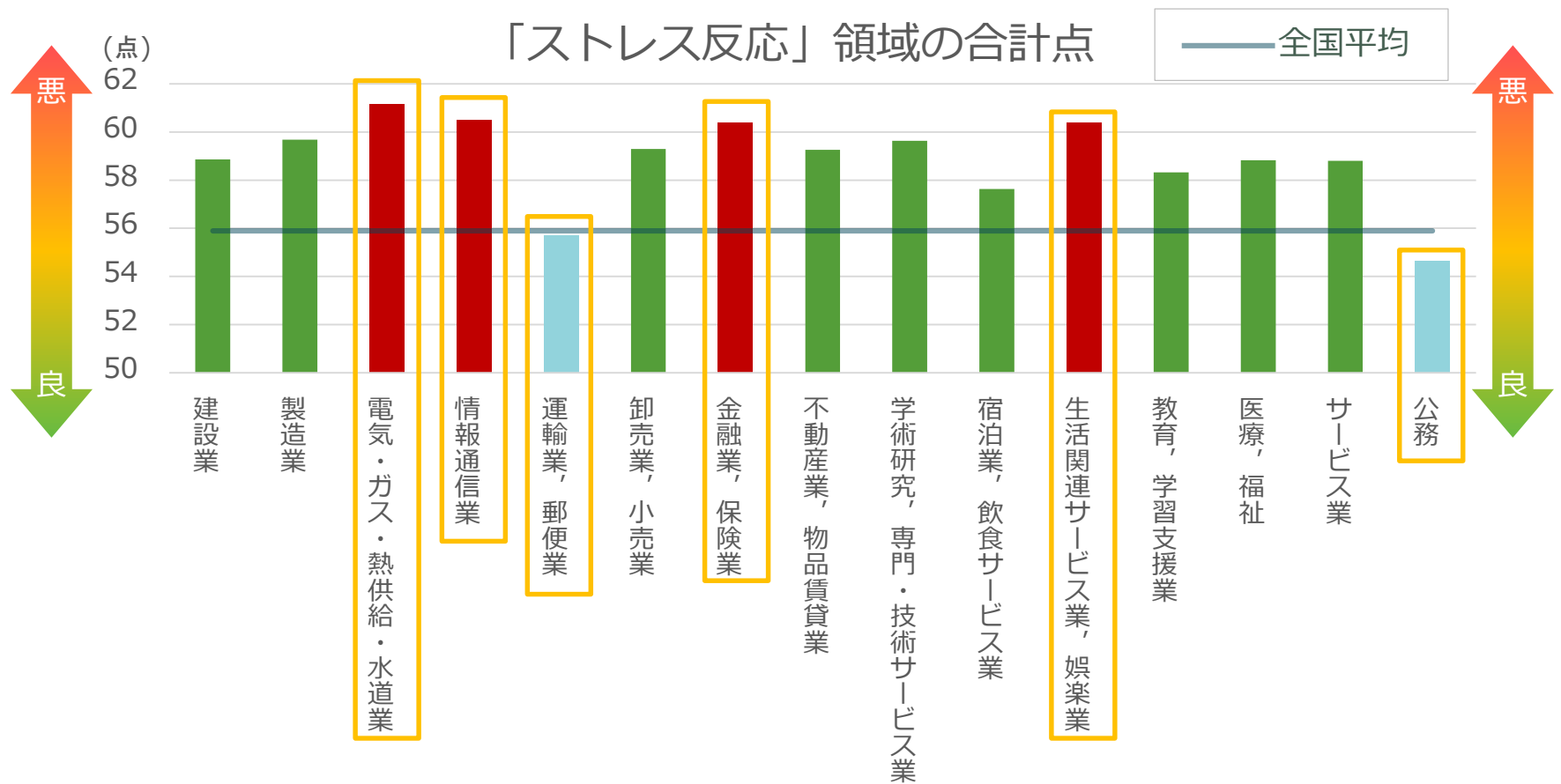
C.周囲のサポート

D.満足度

全11問（設問：47～57）

ストレスの要因となるもの

# 「ストレス反応」の業種比較



あくまで、各業種の全団体の平均点であることに注意

業種のストレス反応点数が低い ≠ その業種の**全団体**のストレス反応点数が低い  
各企業・各団体がどうであるかに目を向けましょう

# ストレス反応合計点が高い業種、低い業種

## ⚠️ ストレス反応合計点が高い

電気・ガス・熱供給・水道業	61.17
情報通信業	60.50
金融業・保険業	60.38
生活関連サービス業、娯楽業	60.37



## ✅ ストレス反応合計点が高い

運輸業、郵便業	55.72
公務	54.64



?? ストレス反応が高い・低いのはなぜ ??

仕事のストレス要因・周囲のサポート・満足度から分析しよう！



# ストレス反応合計点が高い業種（1～2位）



## 電気・ガス・熱供給・水道業

「職場の対人関係」や物理的な「職場環境」が他業種とくらべ不良。  
ストレス反応だけでなく、「仕事の適性度」や「仕事の満足度」の不良な結果にもつながっている



## 情報通信業

「同僚のサポート」「家族・友人のサポート」「家庭の満足度」など、ストレスをやわらげる要因が不良傾向。  
「仕事のコントロール」や「技能の活用度」などは良好。  
単身の比較的若い層が多いこと、コントロール度が高い反面、同僚とのコミュニケーションが少ない傾向が影響していることが考えられる。

# ストレス反応合計点が高い業種 (3~4位)



## 金融・保険業

「仕事の質的負担」「仕事の質的負担」が不良。特に質的負担は業種の中で最も不良である。

高度な知識が必要な業務である反面、働きがいや仕事の満足度につながっていないことが考えられる。

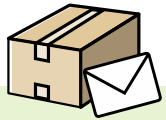


## 生活関連サービス・娯楽業

「仕事の量的負担」が業種の中で最も不良。

ストレス反応の中でも、「疲労感」が特に不良であり、人出不足からのオーバーワークが予想できる。

# ストレス反応合計点が低い業種（1～2位）



## 運輸・郵便業

「仕事のコントロール」は最も不良だが、「仕事の量的負担」「仕事の質的負担」がもっとも少なく良好である。また、「職場環境」も良好なことから、ストレス反応が少なくなっていることが考えられる。

しかし、ストレス反応が少なくとも、「働きがい」も不良となっている。

今回の「運輸・郵便業」の受検者のうち、約7割は郵便業であったため、「公務」と近い結果になっていると考えられる。

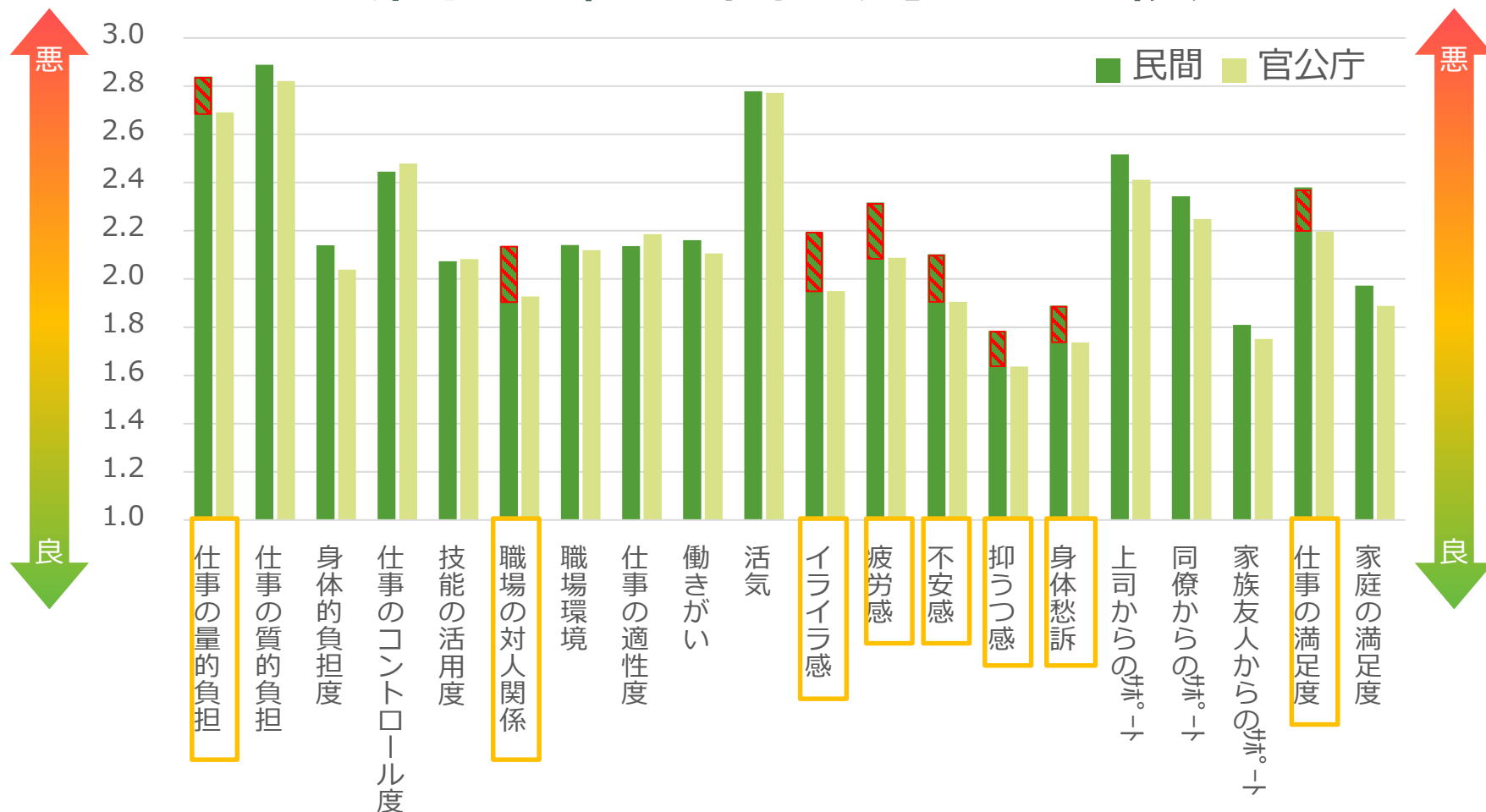


## 公務

「仕事の量的負担」「仕事の質的負担」とともに良好であり、「職場の対人関係」も良好な結果である。そのため、ストレス反応が他業種とくらべ低くなっていることが考えられる。

「仕事のコントロール」は不良だが、周囲のサポートや仕事の満足度が高く、結果としてストレス反応に現れる点数が低くなっている。

# 民間企業と官公庁の比較



**全体として官公庁の方が良好な傾向**

民間との差が大きいもの：「仕事の量的負担」「職場の対人関係」「活気」を除くストレス反応、「仕事の満足度」



## 担当保健師のひとこと

今回お示したデータは、業種平均点のみとなっています。  
「情報通信業」でもストレス反応点が少ない企業もあれば、「公務」でもストレス反応点がかなり高い組織もございます。  
同じ業種の他団体はどうなのか？他業種はどうなのか？  
それを比較して、自分の団体の強み・弱みはどこか？を現場感と照らし合わせて考えてみましょう。  
そして、その強み・弱みの要因は何か？に焦点を合わせると、次のステップが見えやすくなります。

## 保健師によるセミナー、ご好評いただいております！

- ・健康診断の事後措置について
- ・アンガーマネジメント
- ・睡眠から考える長時間労働
- ・VDT症候群予防について...など

健康経営に最適なセミナーを  
保健師がリーズナブルに実施いたします！

## 無料セミナー毎月開催中！

詳しくは特設サイトへ！

<http://seminar.doctor-trust.co.jp/>

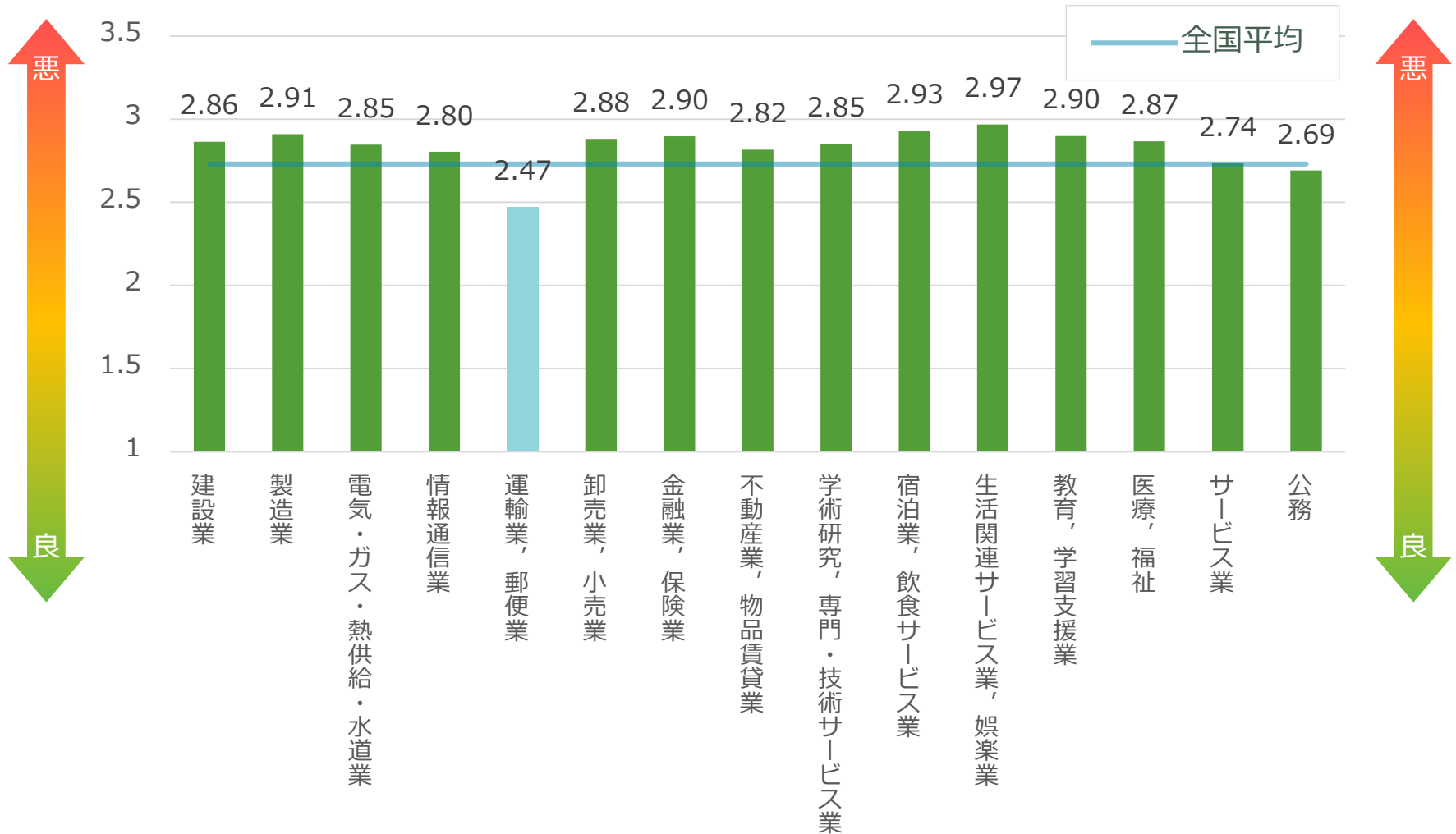
保健師 健康経営セミナー

検索

# 参考資料

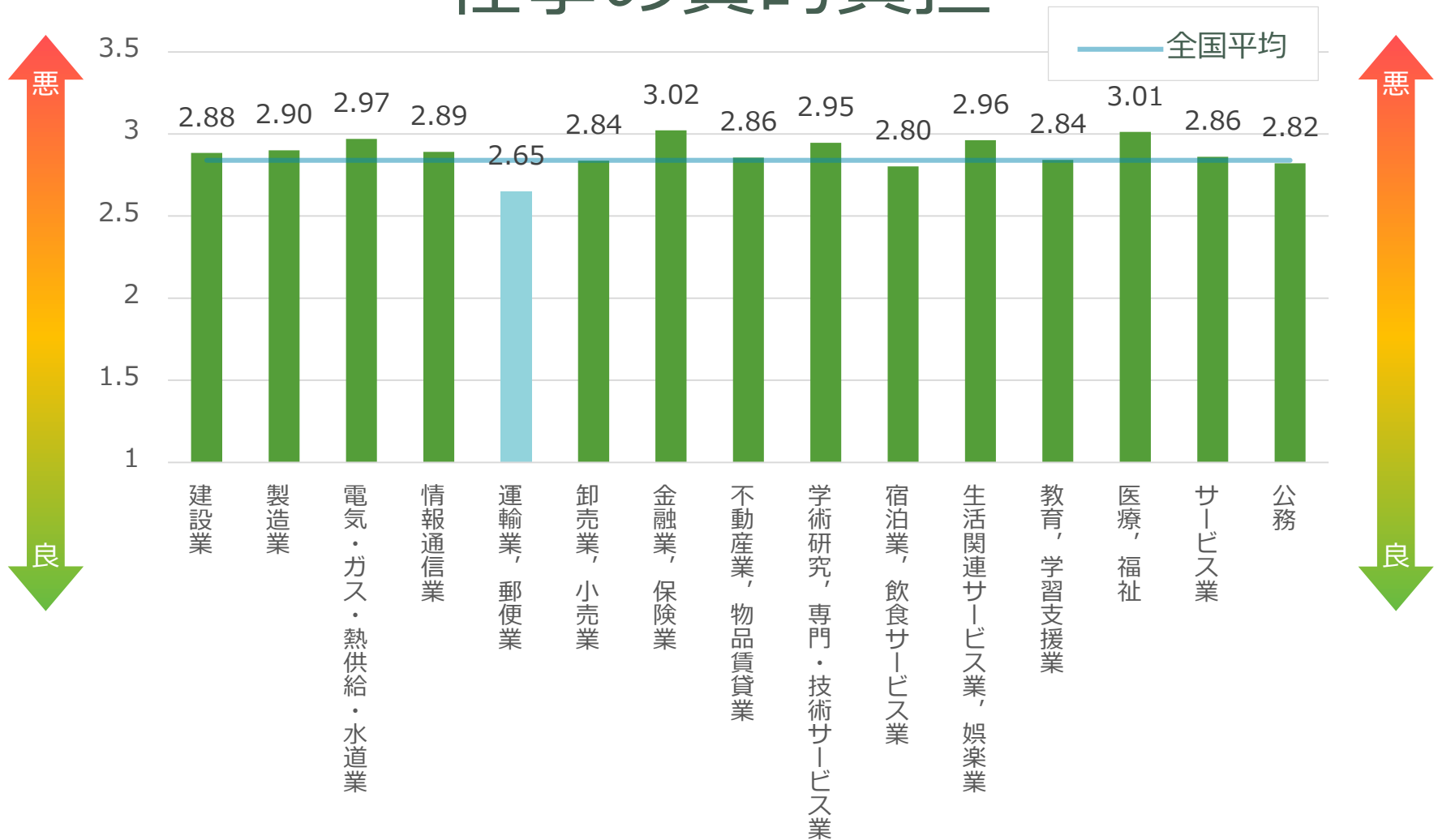
## 20尺度の業種比較

# 仕事の量的負担



良好：運輸業・郵便業

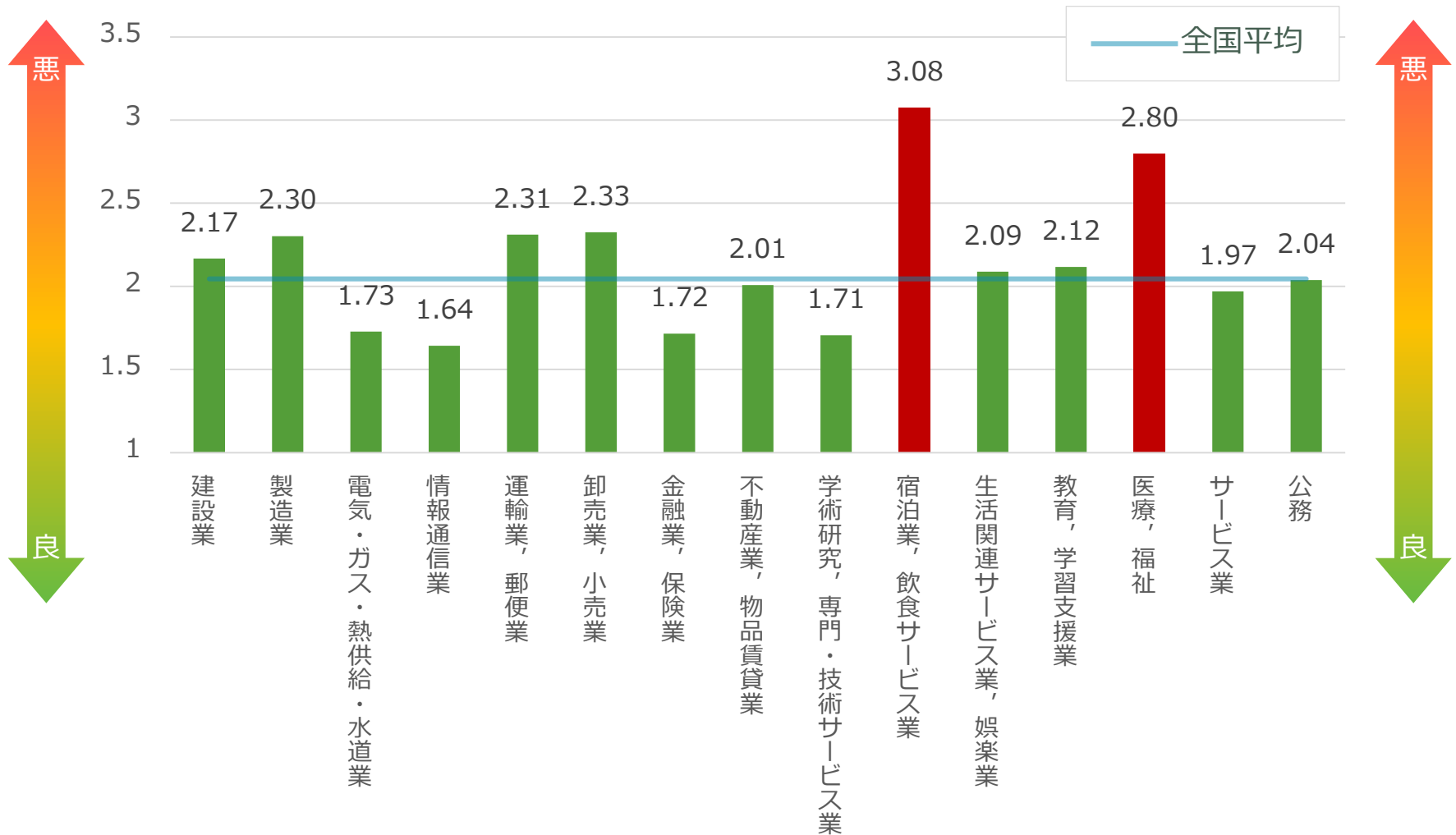
# 仕事の質的負担



良好：運輸業・郵便業



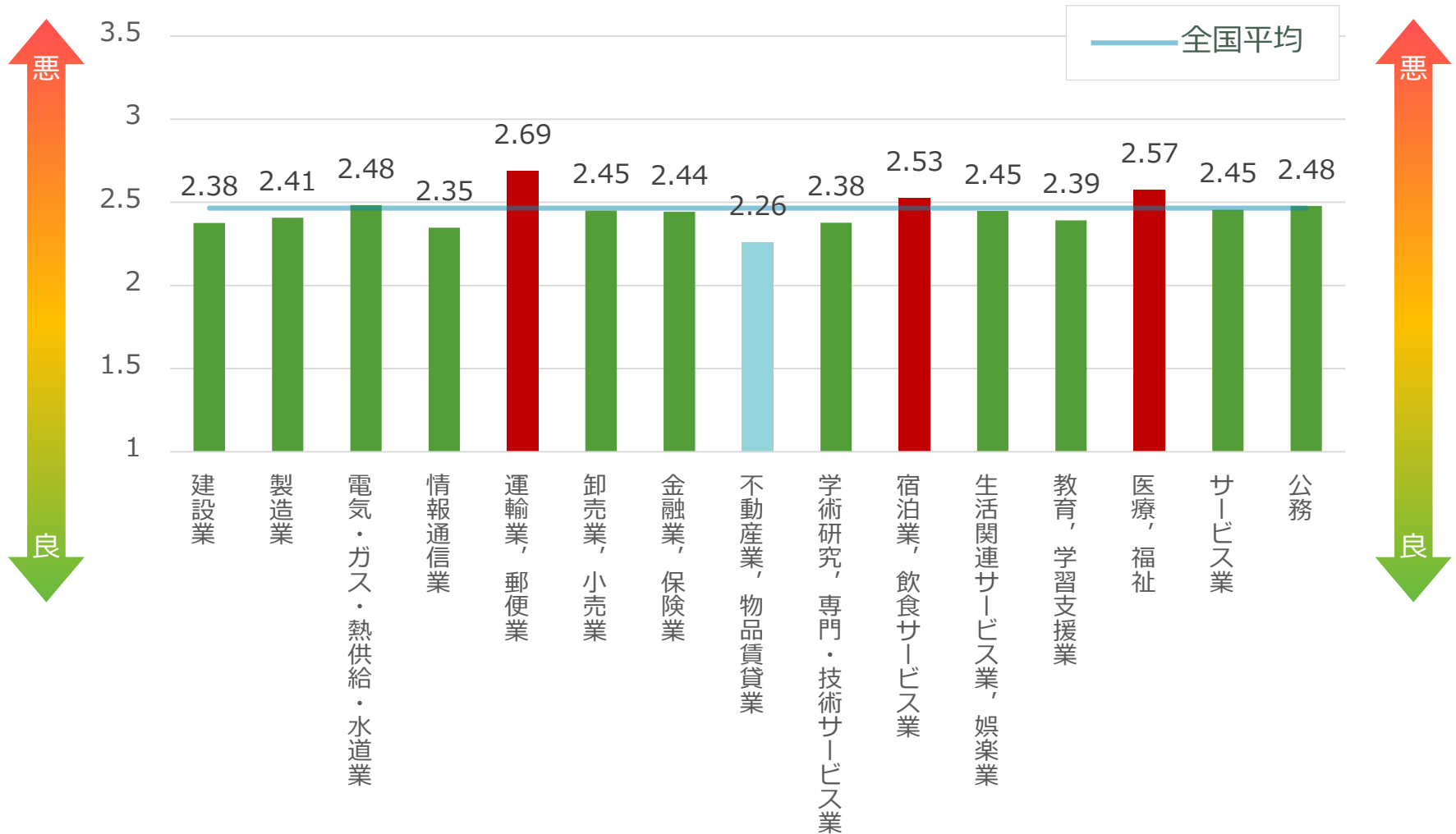
# 身体的負担度



業種によりばらつきが大きい

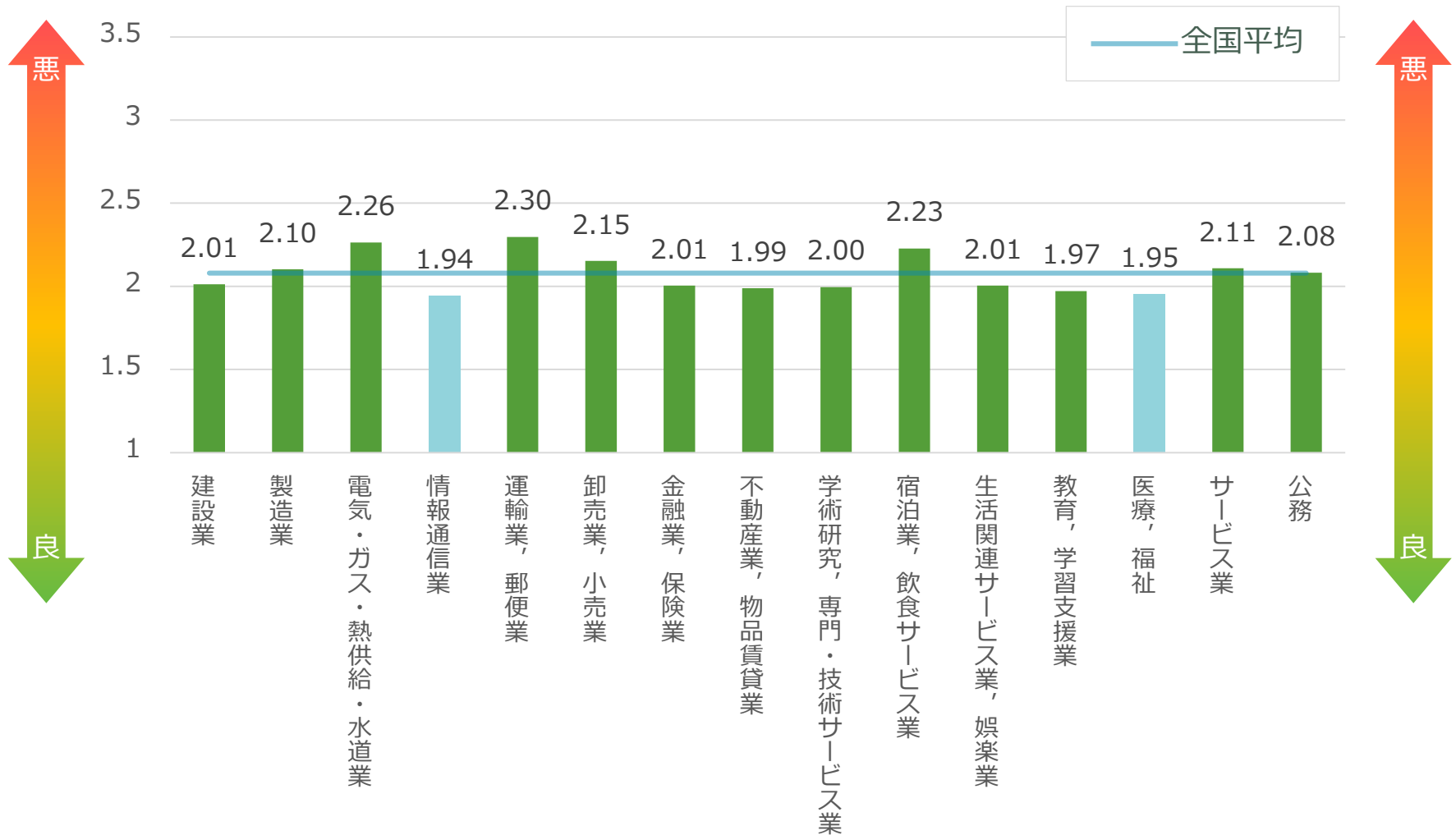
不良：宿泊業・飲食サービス業、医療・福祉（からだをよく使う仕事）

# 仕事のコントロール度



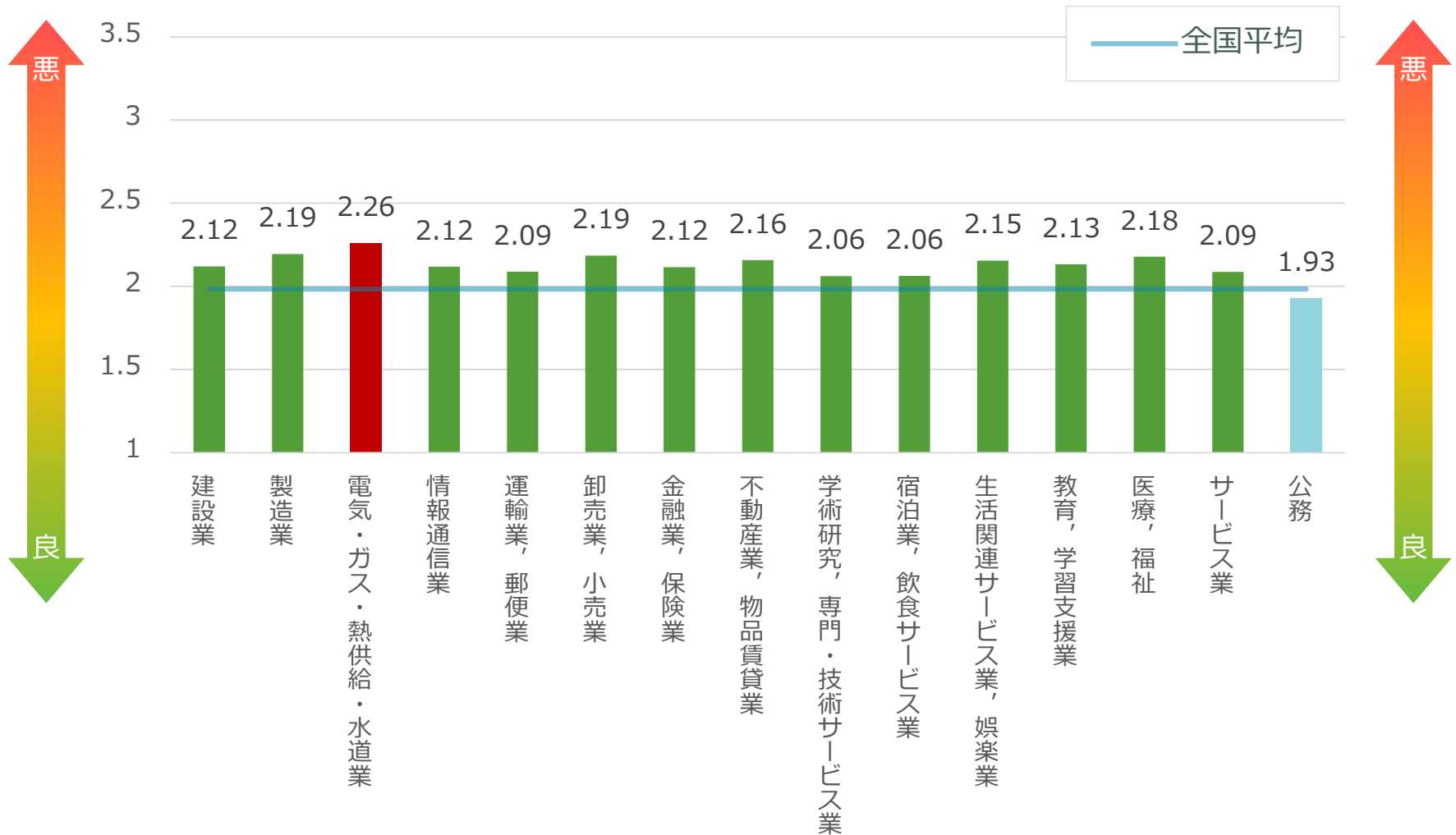
不良：運輸業・郵便業、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業  
最も良好：不動産業・物品賃貸業

# 技能の活用度



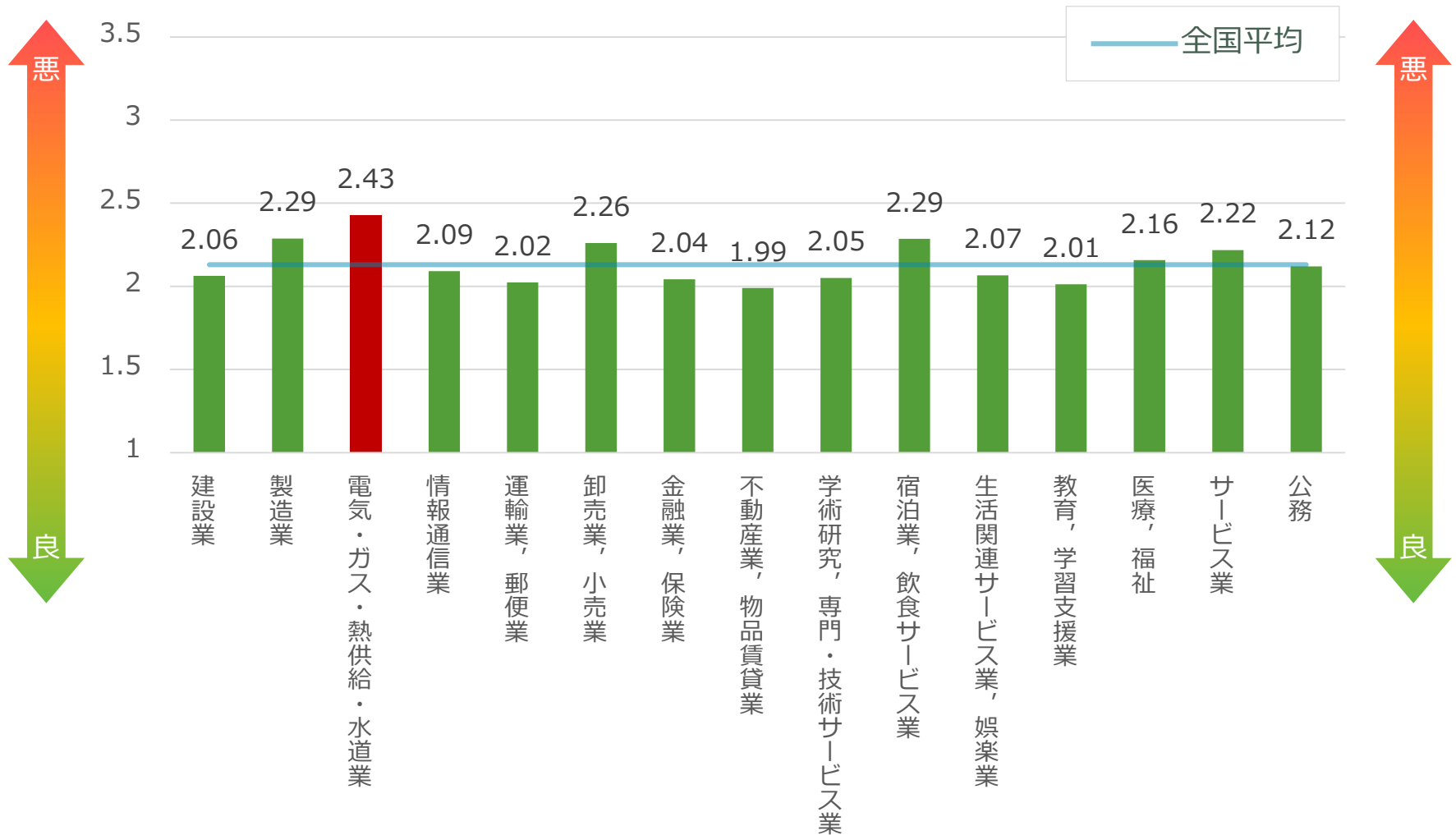
良好：情報通信業、医療・福祉（専門的な仕事内容である業種）  
※ただし大きな差はない

# 職場の対人関係



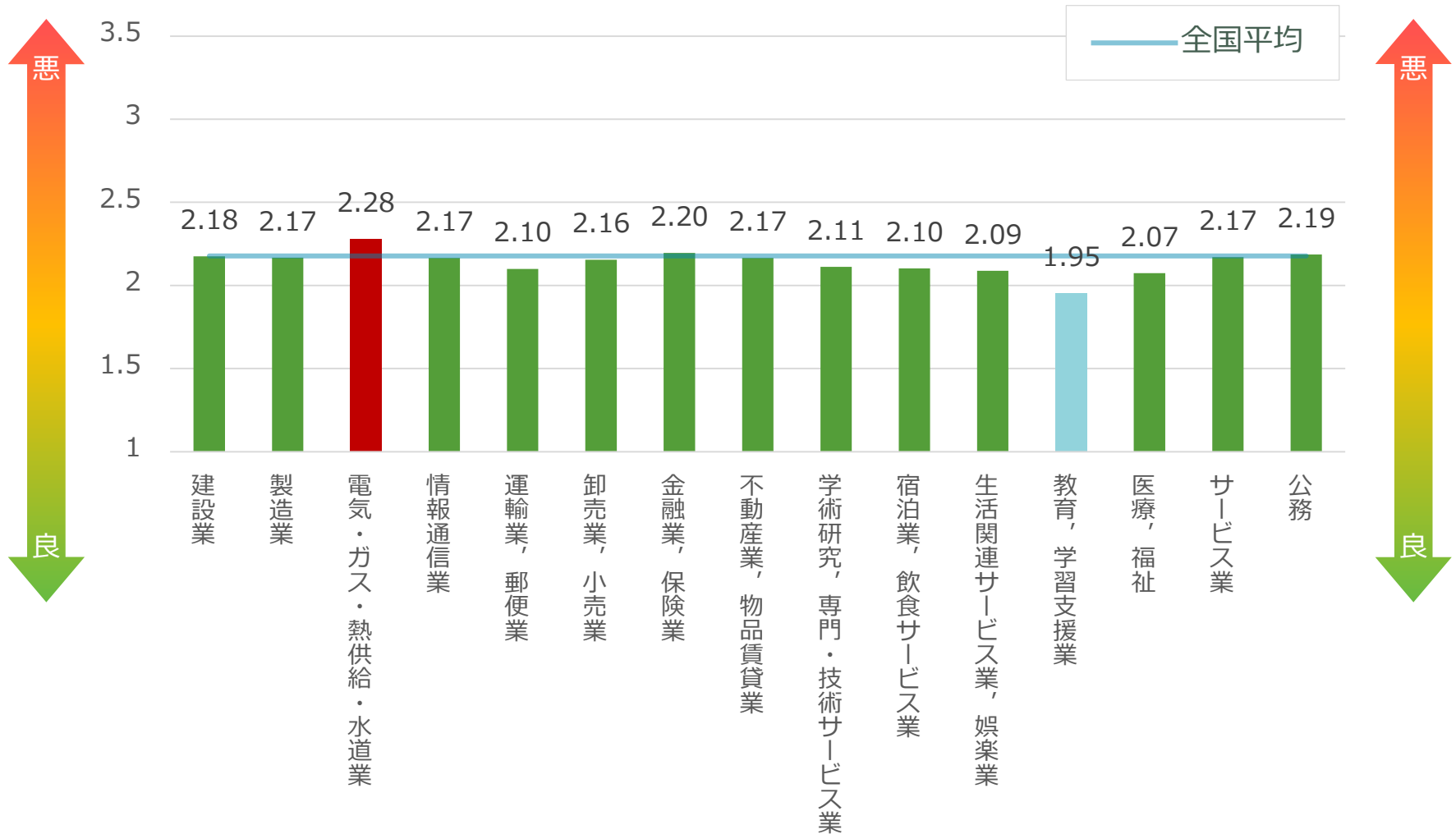
最も不良：電気・ガス・熱供給・水道業  
最も良好：公務

# 職場環境



最も不良：電気・ガス・熱供給・水道業

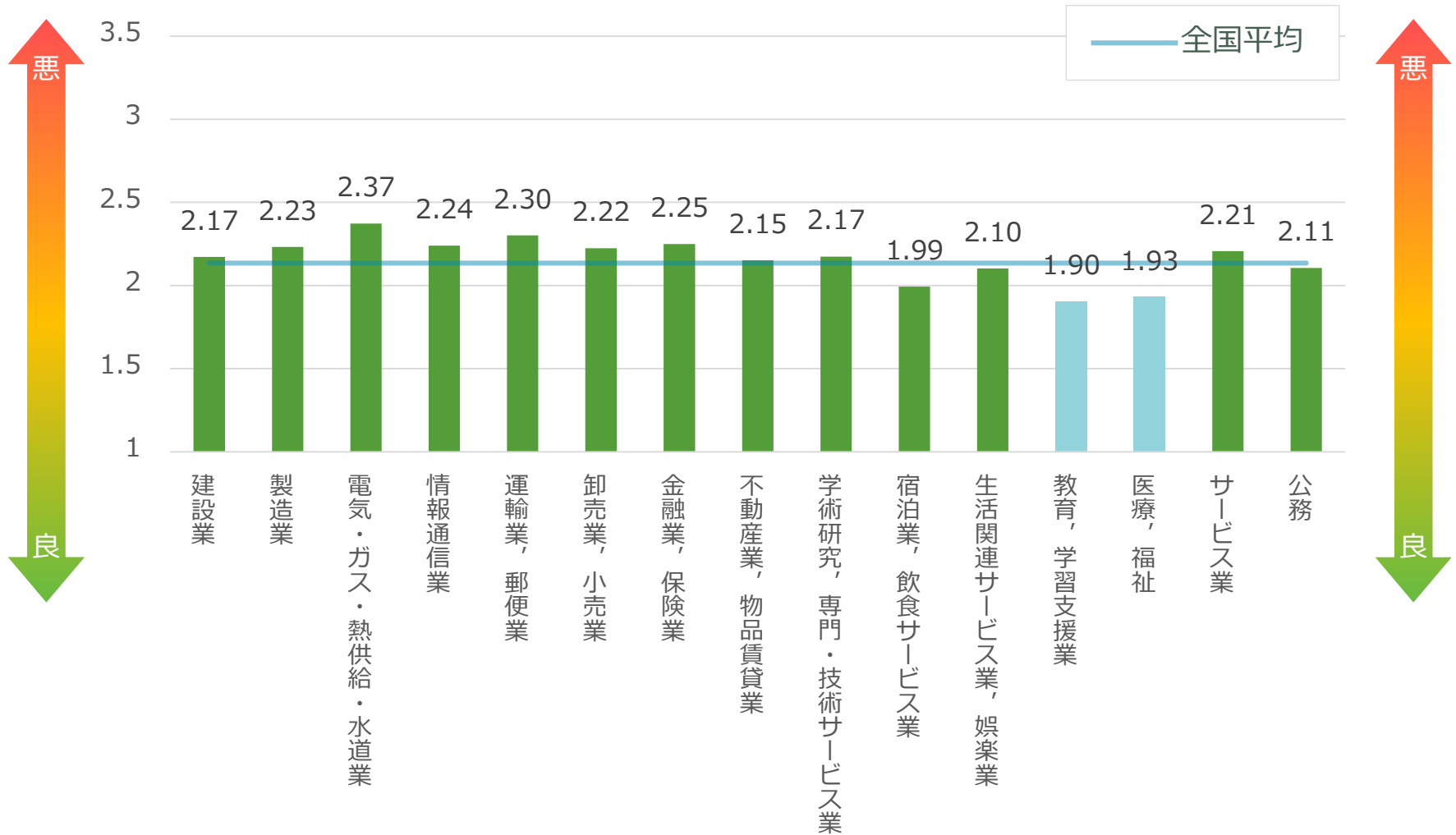
# 仕事の適性度



最も不良：電気・ガス・熱供給・水道業

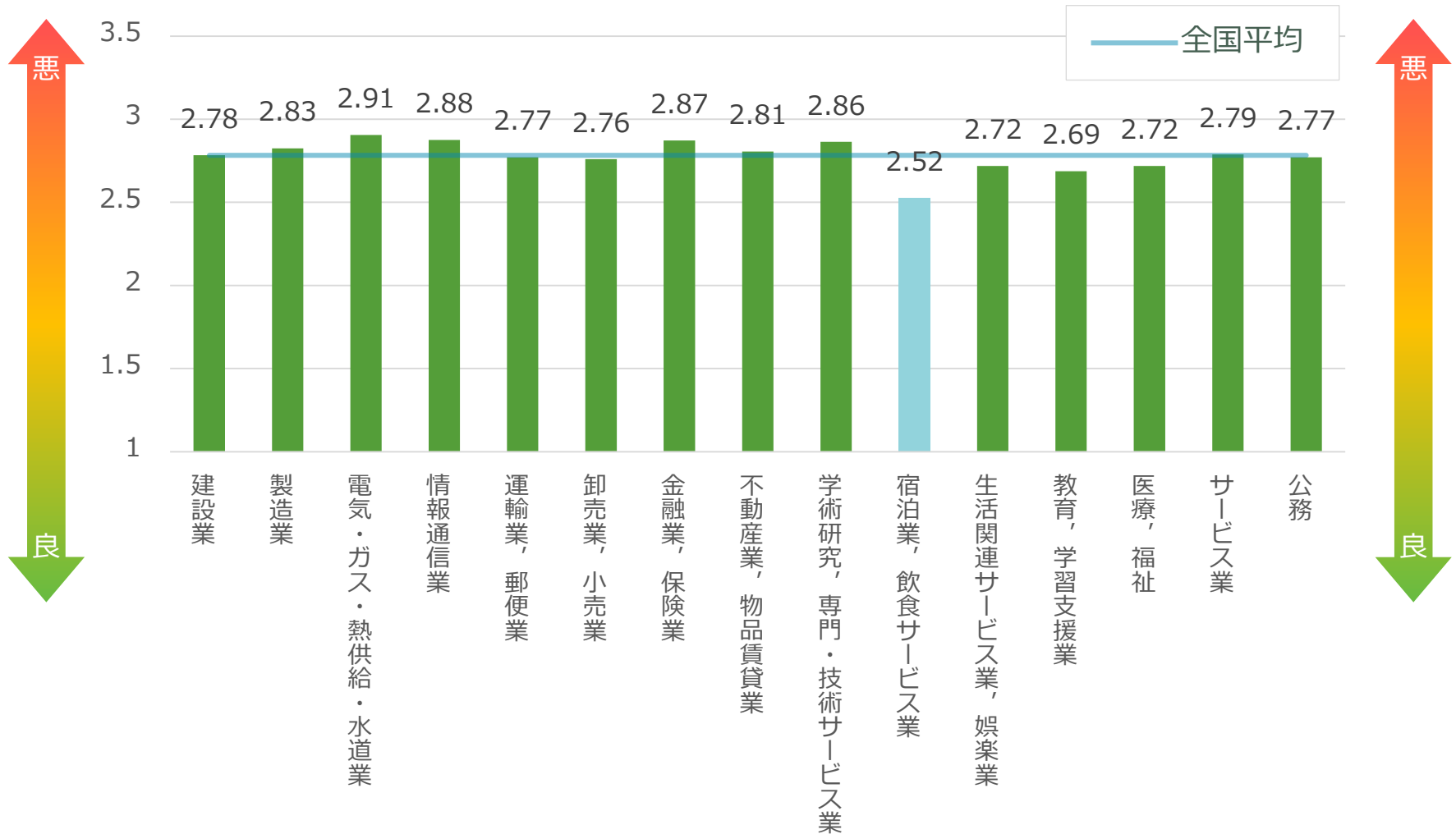
最も良好：教育・学習支援業

# 働きがい



良好：教育・学習支援業、医療・福祉

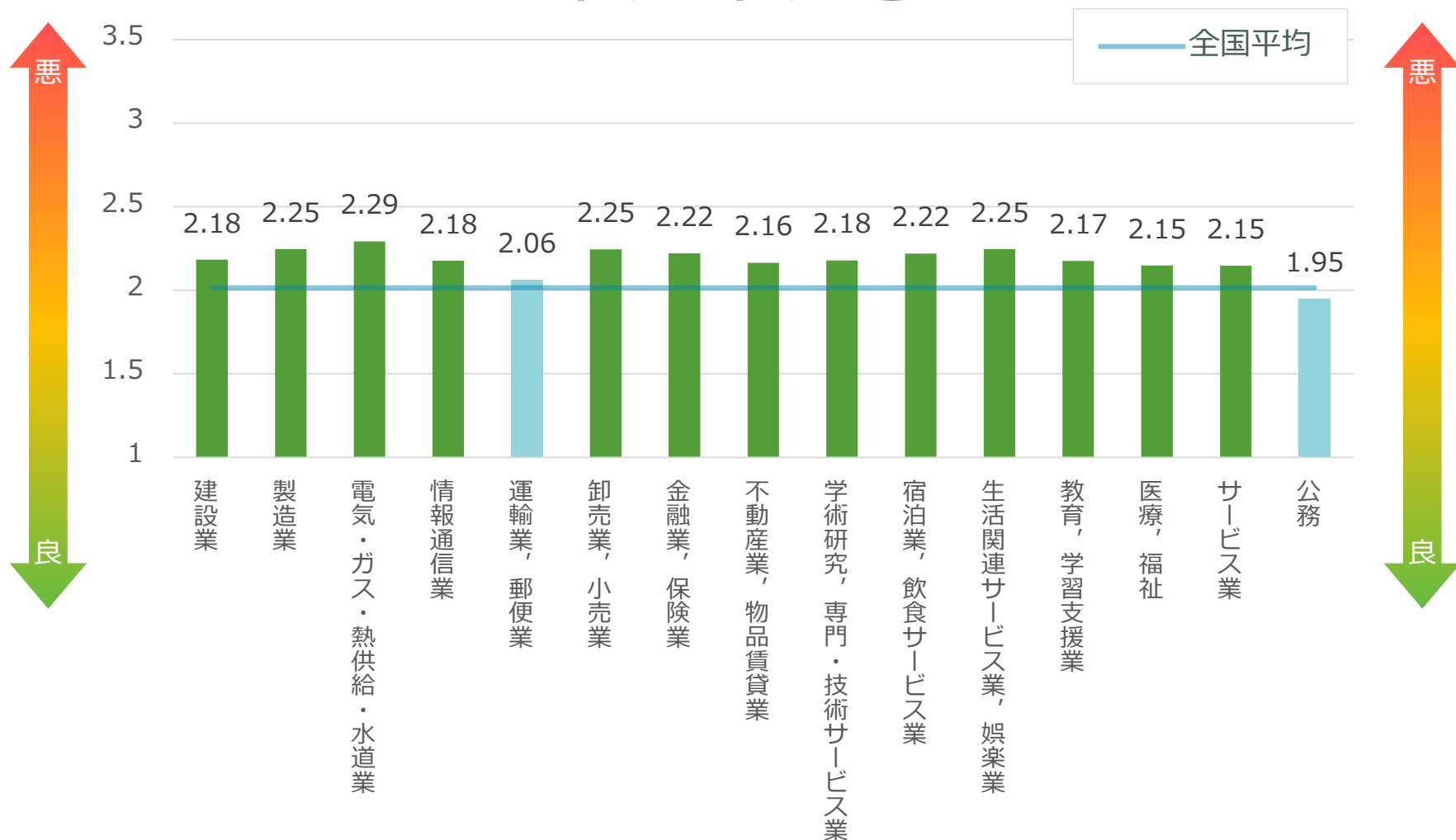
# 活気



最も良好：宿泊業・飲食サービス業

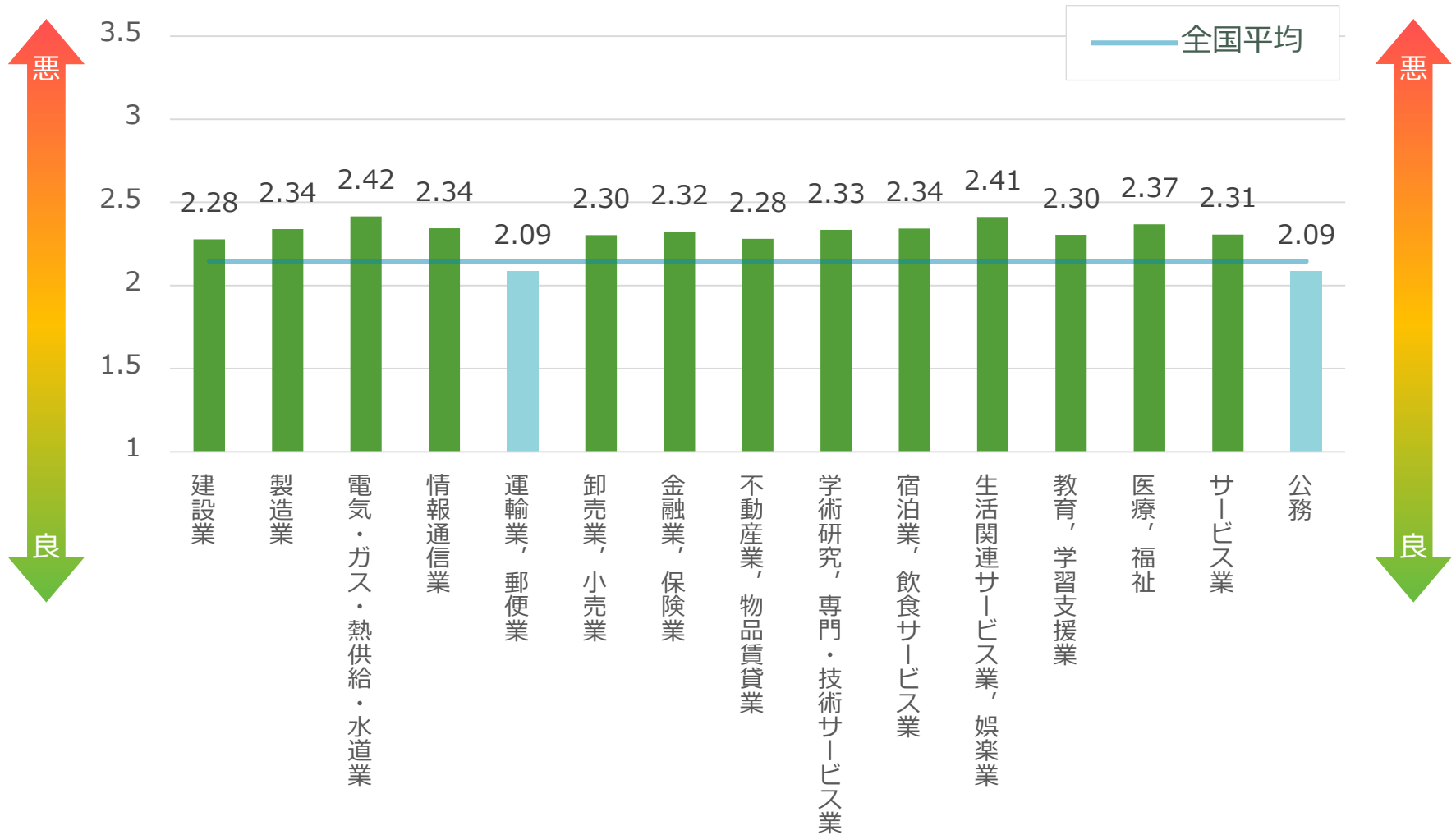


# イライラ感



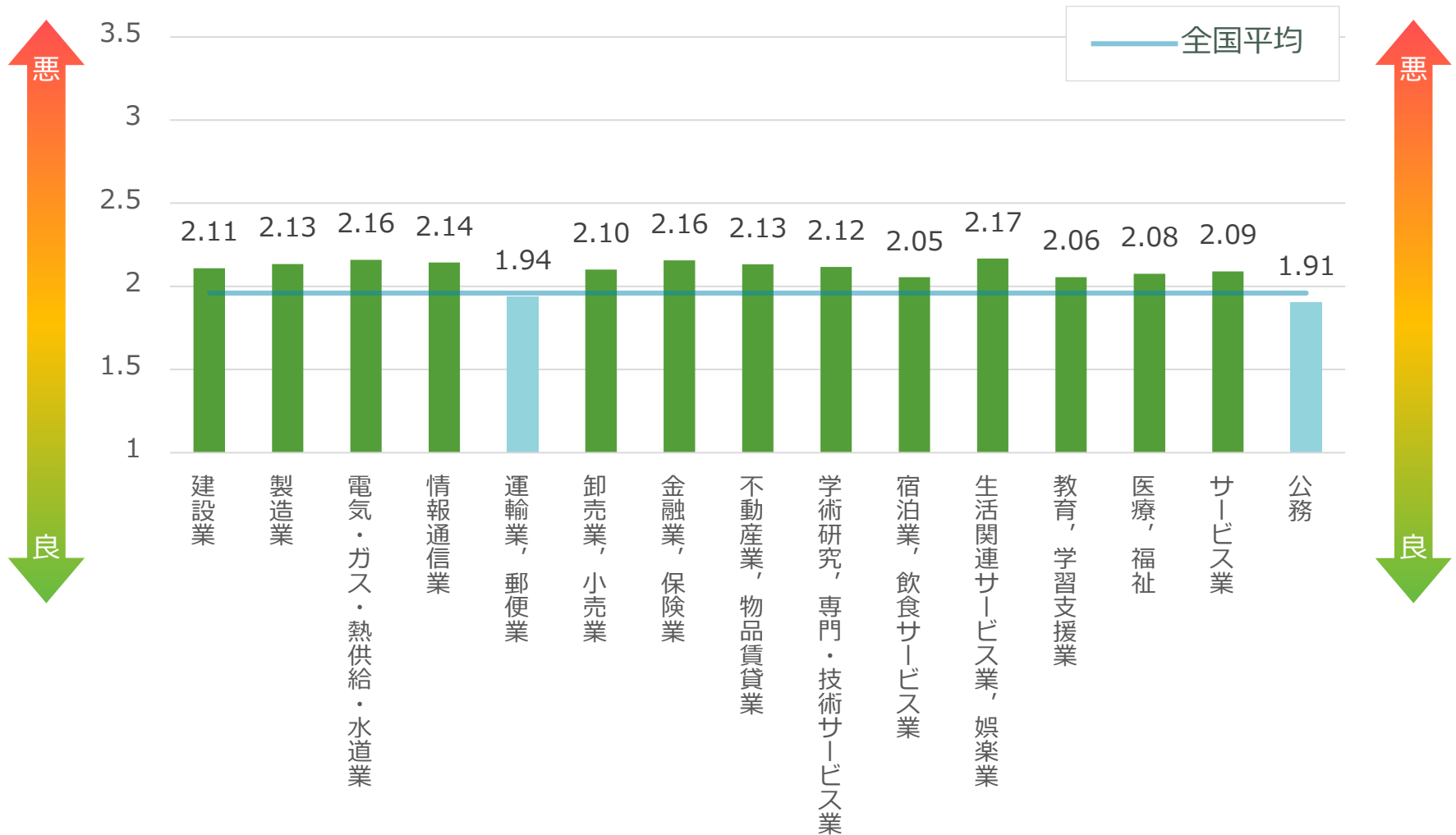
良好：運輸業・小売業、公務

# 疲労感



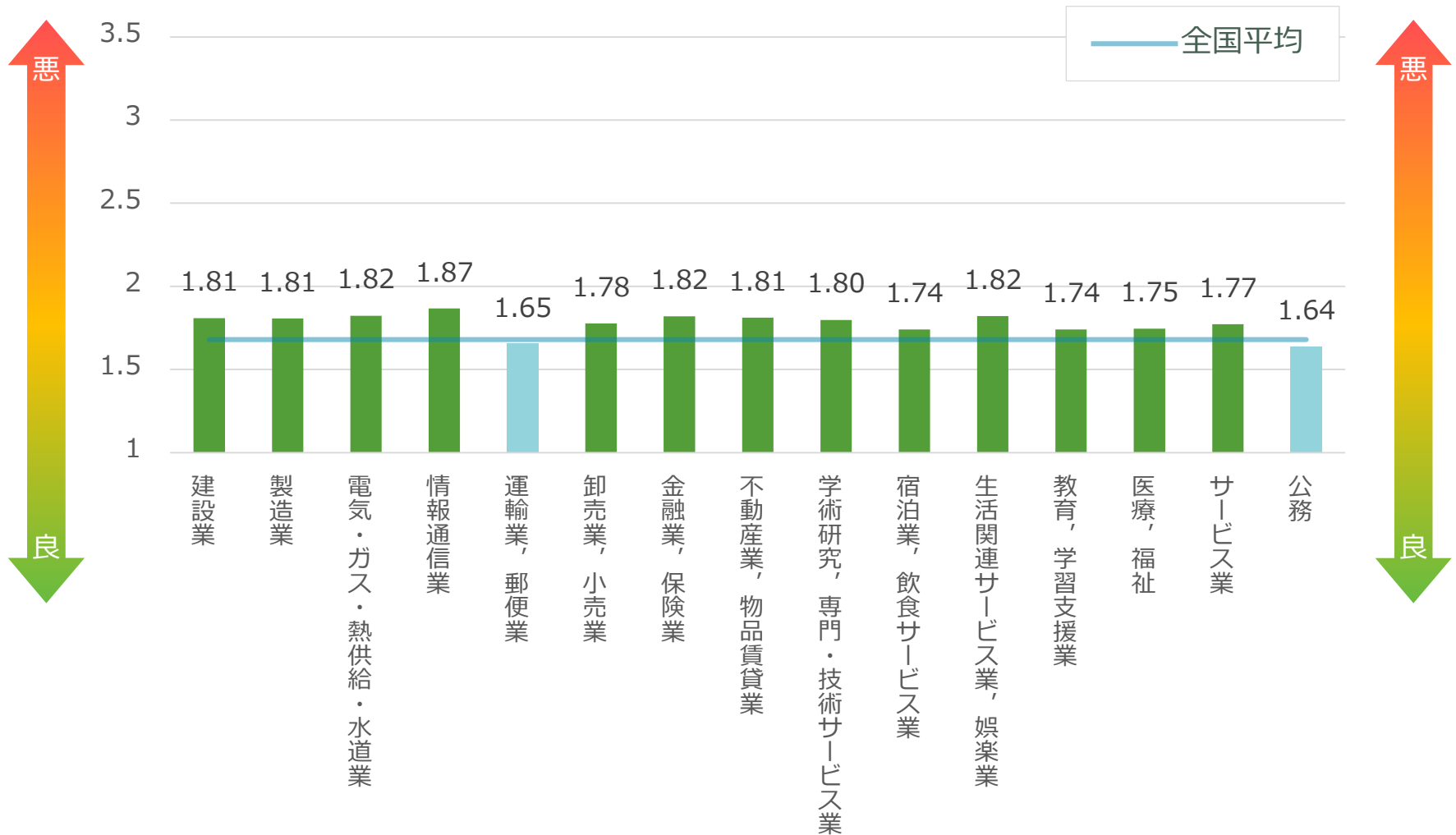
良好：運輸業・小売業、公務

# 不安感



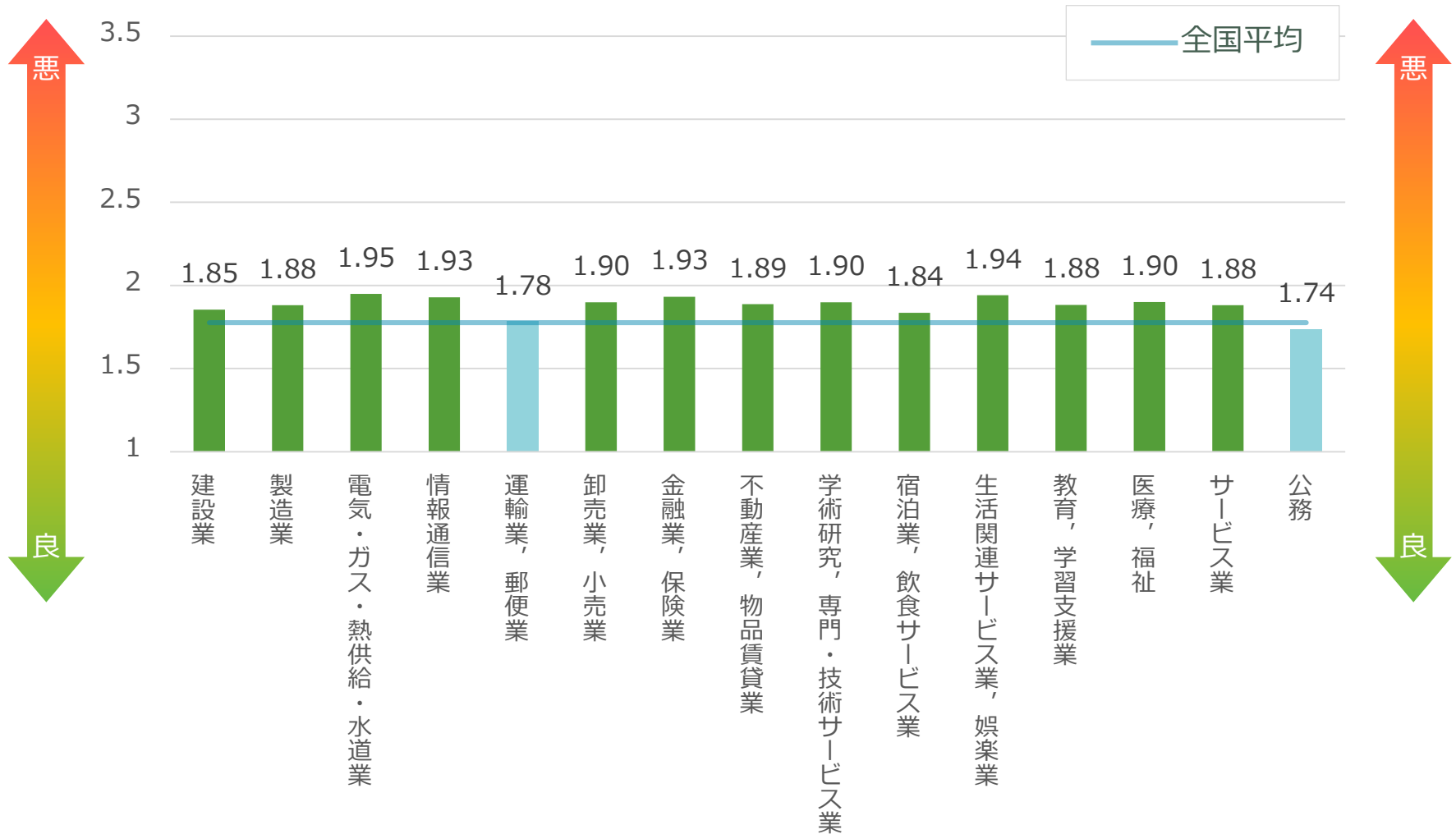
良好：運輸業・小売業、公務

# 抑うつ感



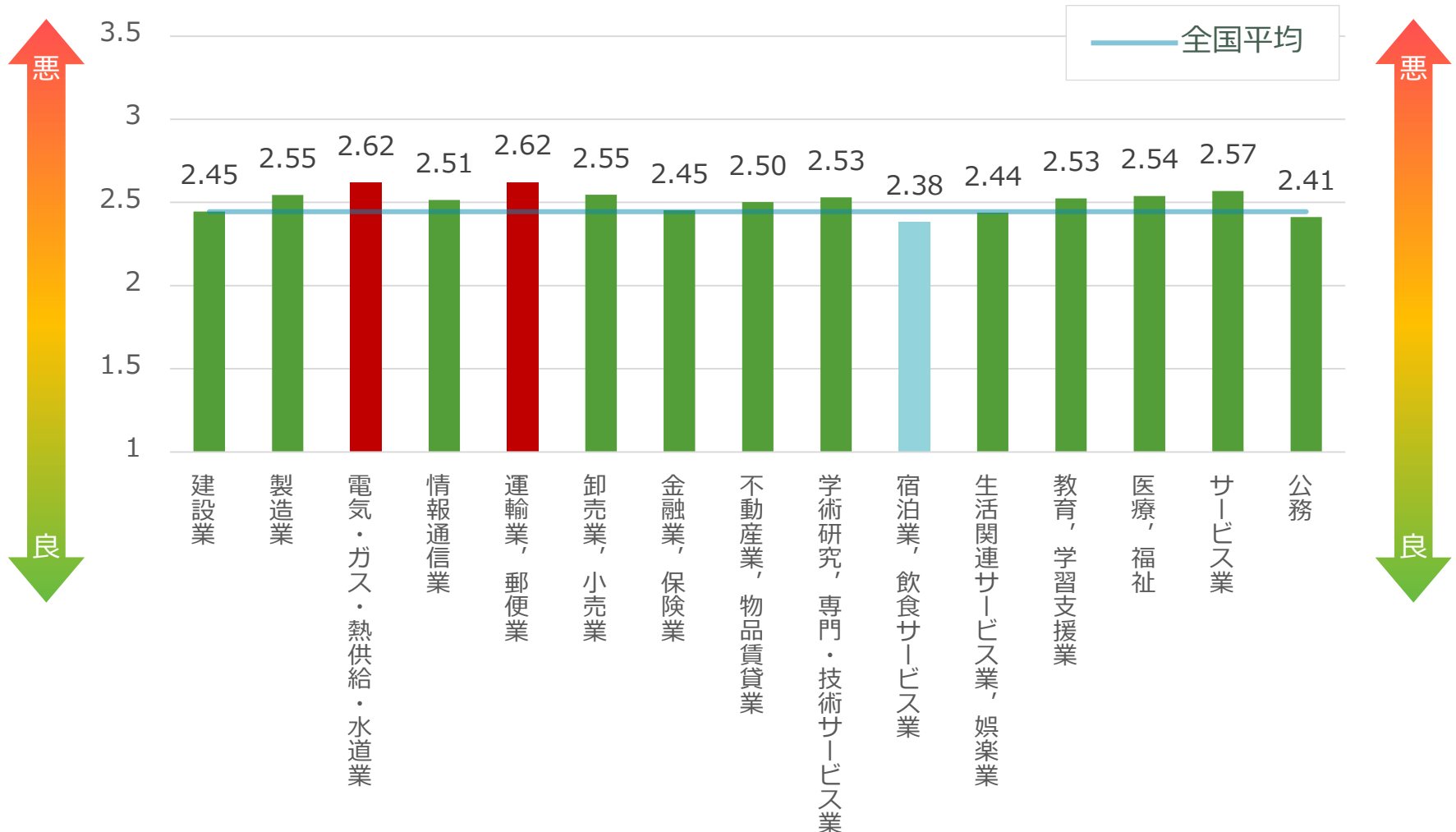
良好：運輸業・小売業、公務

# 身体愁訴



良好：運輸業・小売業、公務

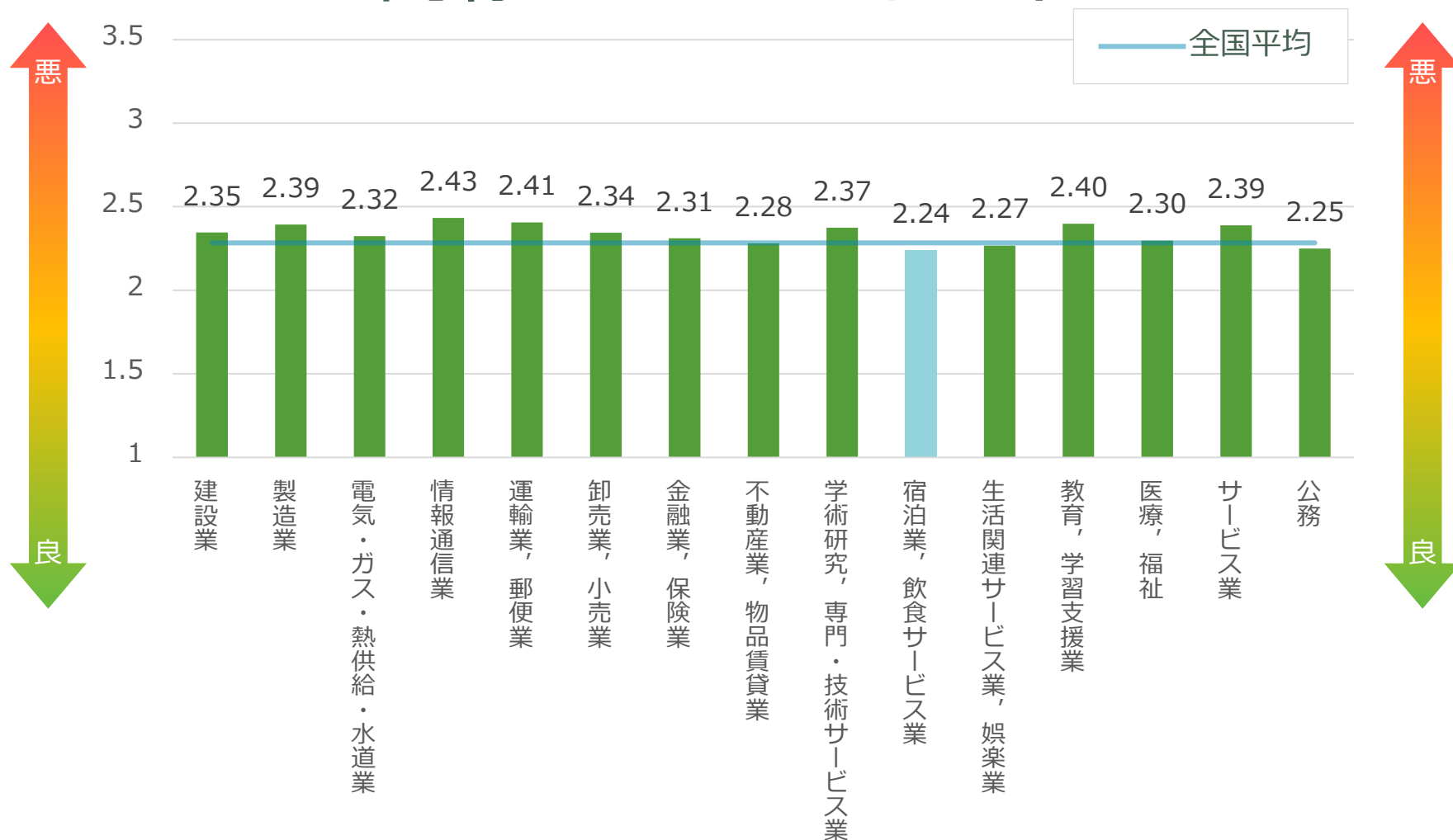
# 上司からのサポート



最も良好：宿泊業・飲食サービス業  
不良：電気・ガス・熱供給・水道業、運輸業・郵便業

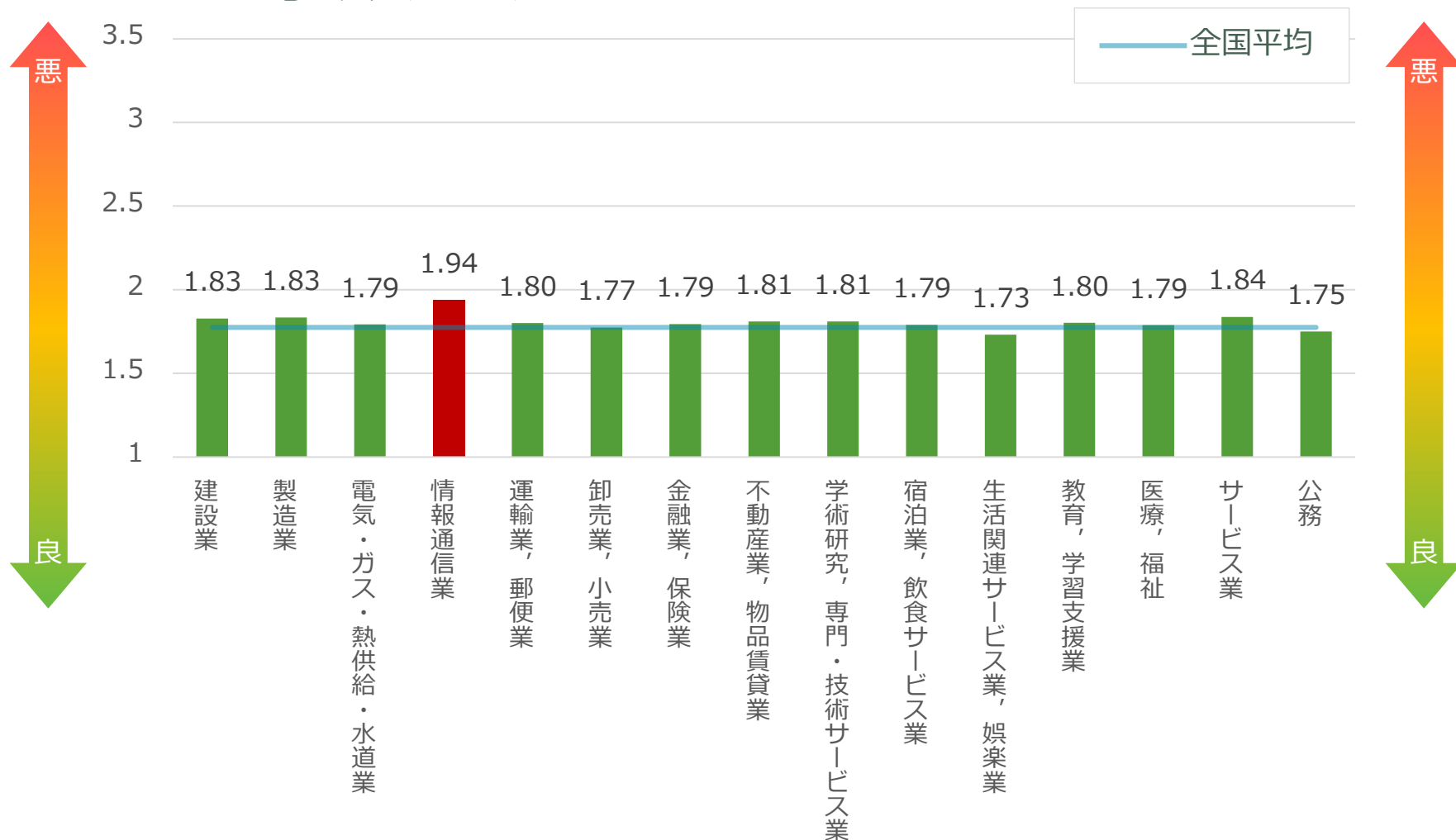
※ただし大きな差はない

# 同僚からのサポート



最も良好：宿泊業・飲食サービス業  
最も不良：情報通信業

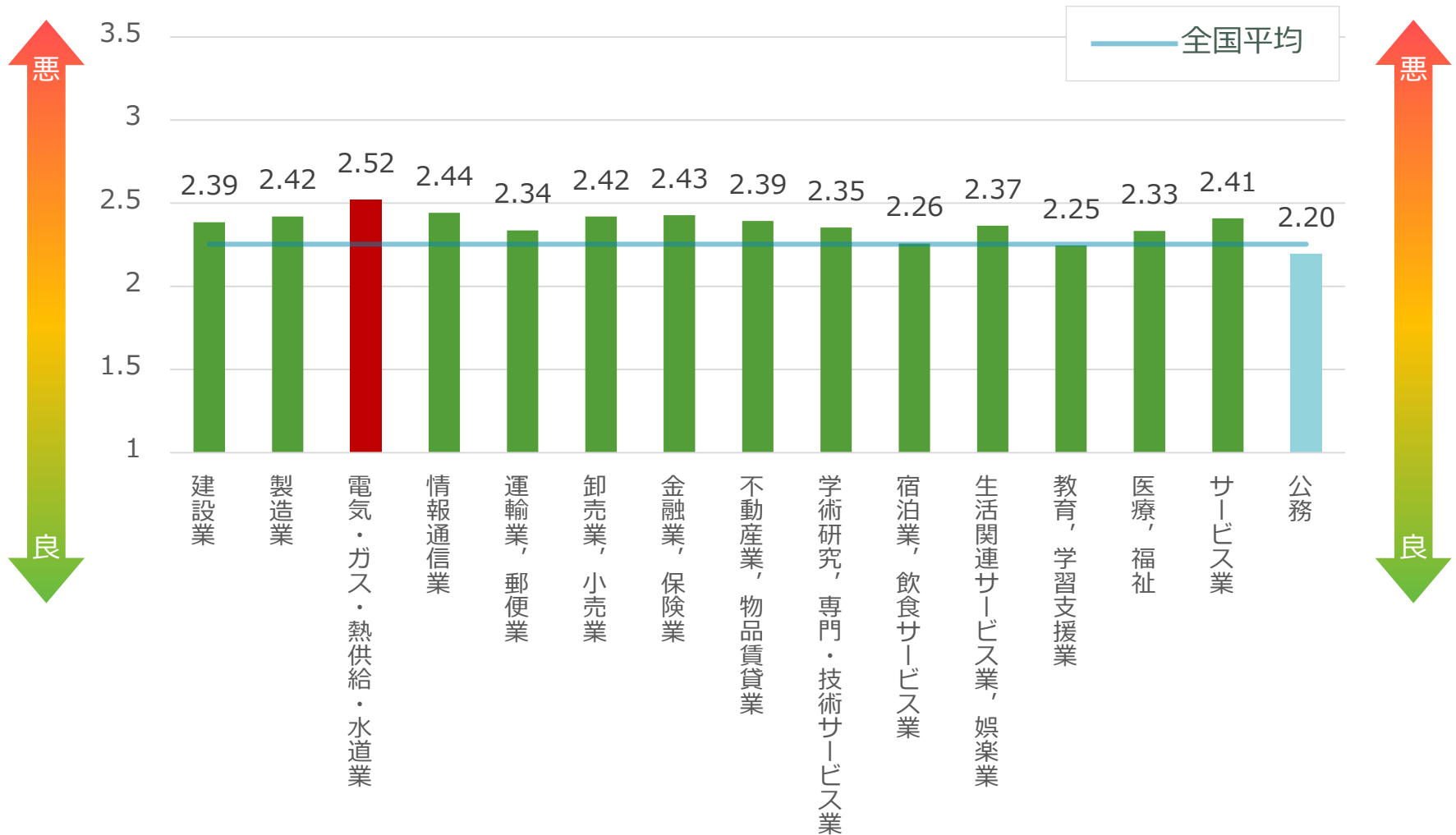
# 家族・友人からのサポート



最も不良：情報通信業

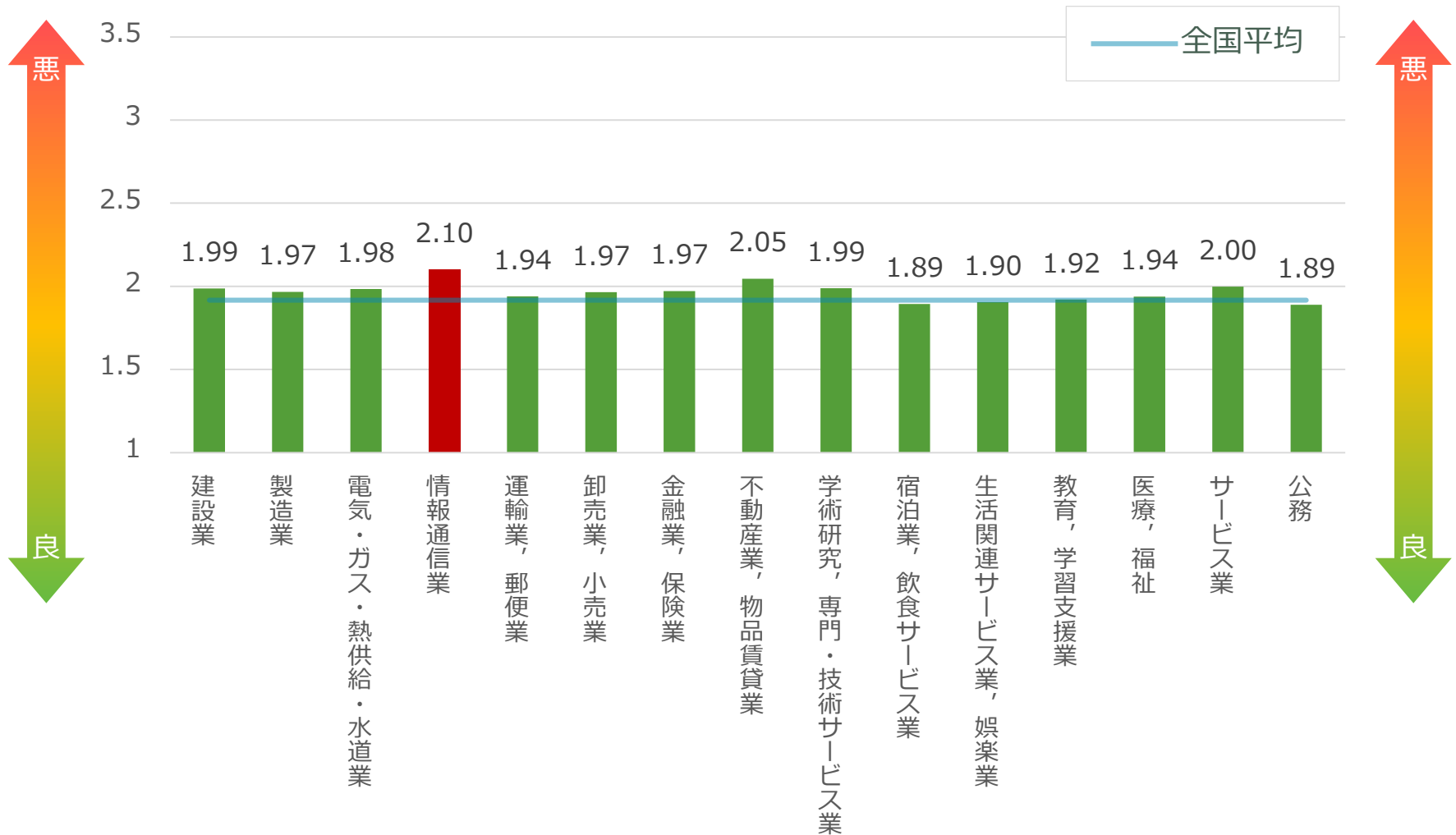


# 仕事の満足度



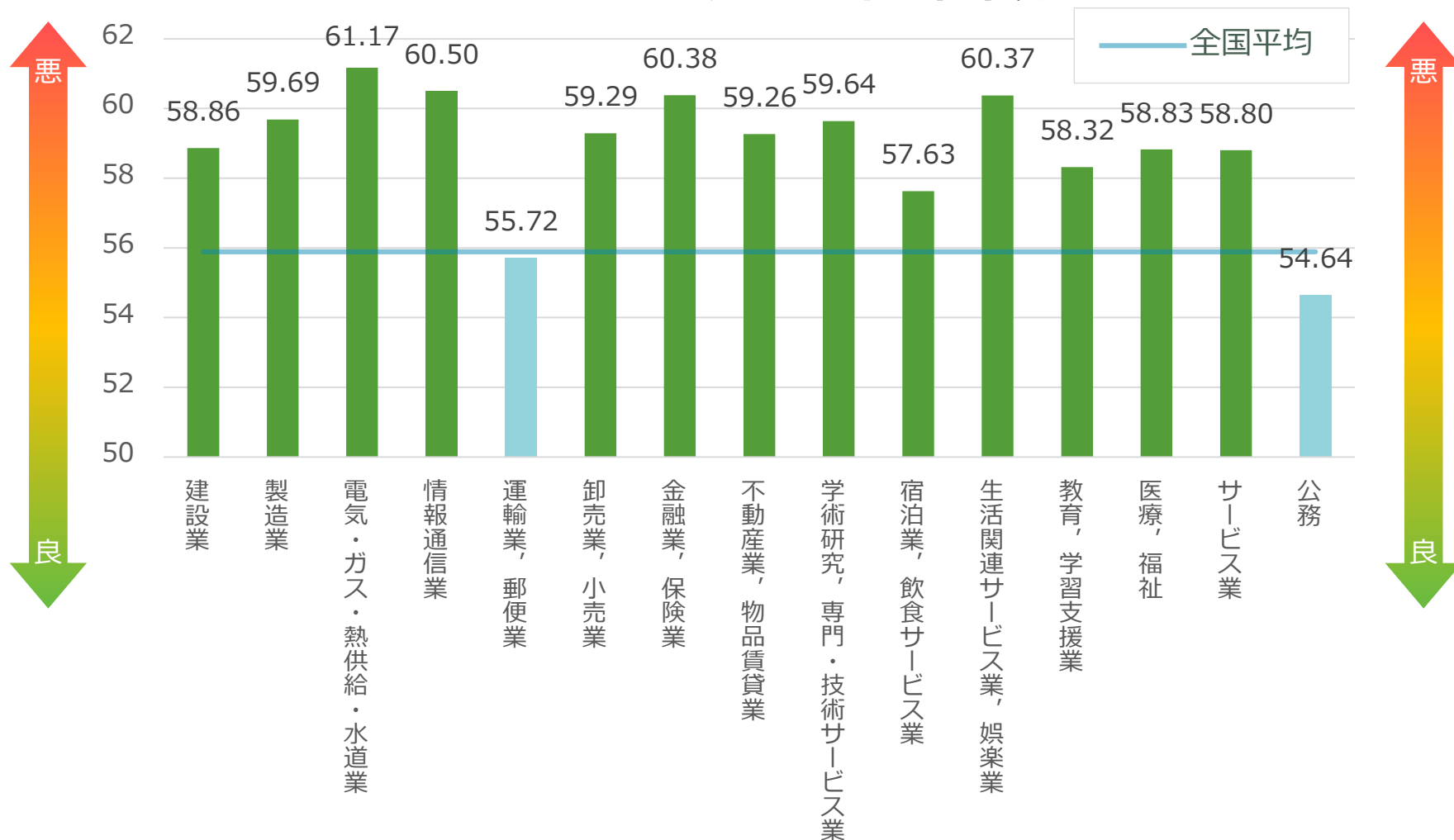
不良：電気・ガス・熱供給・水道業  
最も良好：公務

# 家庭の満足度



最も不良：情報通信業

# ストレス反応合計点



良好：運輸業・郵便業、公務